みつけたみよしの はつらつさん

考え事は前向きになれる朝に

早坂（はやさか）　佳子（よしこ）さん（三好丘旭（みよしがおかあさひ））

老人クラブの仲間と立ち上げた手芸クラブで、楽しそうに作品を作る早坂さん。「趣味を通じて友人ができるし、作品を見てもらえるとやりがいがあります」と笑顔で話します。北海道士別市（しべつし）からみよしに引越してきて3年。「息子夫婦に勧められて入った老人クラブでしたが、みよしの人はとても温かく接してくれて、今まで寂しい思いをしたことがありません」とにっこり。老人クラブの仲間と食事会を開いたり、カラオケで踊りを披露したりと、今ではすっかりムードメーカー的存在です。

雪深い士別に住んでいたころから、毎日5キロのウオーキングを欠かさず、歌謡舞踊もこなすパワフルな早坂さん。元気の秘訣（ひけつ）を「早寝早起き。朝に物事を考えた報が前向きな結論が出ることが多いんです」と話します。

いつまでも、お元気で趣味を楽しんでください。

▶▶▶プロフィル

はやさか・よしこ　昭和11年生まれ。3年ほど前、みよし市と友好提携を結んでいる北海道士別市からみよしに移り住んだ。三好丘旭行政区老人クラブで体育部長を務める。趣味はパッチワークや俳句、歌謡舞踊、ウオーキング、カラオケなど多才。中でも歌謡舞踊では、曲に合わせて即興で踊る特技を持っている。

がんばれ！ みよしっ子

南中学校 吹奏楽部

今回は南中学校の吹奏楽部を紹介します。顧問の巌由記（いわおゆき）先生と、部長の小野田紗季（おのださき）さんに話を伺いました。

授業後、部活動の時間になると音楽室から聞こえてくる重厚な音色。2年生14人、1年生12人の吹奏楽部員たちは「音を一つに」をテーマに毎日練習に励んでいます。個性豊かな部員たちをまとめる部長の小野田さんは「基礎練習の時も楽譜をちゃんと見て、テンポに気を付けています」と話します。巌先生は「まずは自分が演奏を楽しむこと。そして、仲間とコミュニケーションを取りながら一つの音楽を作ることを楽しんでほしいですね」と元気いっぱいの部員たちを温かく見守ります。

現在は「音を良く聴く」ことを意識しながら、基礎を中心に練習に励む部員たち。小野田さんは「ミスをせずに、みんなと曲の最後まで吹き通せたときが一番うれしいです」と吹奏楽の魅力を話します。夏のコンクール地区大会に向けて部員たちは心を一つにして音を奏でます。

Happy Birthday おめでとう お誕生日 2月

畠山 翼杜くん（福谷）

平成20年2月27日生

父・順二さん　母・美加さん

『飛行機が大好き』

戦闘機のおもちゃが大好きなはやとくん。飛んでいる飛行機を見つけるとうれしくなっちゃうんだって。大好物は納豆。外で遊ぶのが大好きですり傷が絶えないはやとくんに「元気いっぱいで人から好かれるような人になってほしいな」とお母さん。

白井 咲羽ちゃん（黒笹）

平成2021年2月20日生

父・尚志さん　母・智子さん

『にこにこ笑顔の人気者』

イチゴとミカンが大好きなさわちゃん。歩行器に乗って、聡一郎お兄ちゃんと追い駆けっこをするのがお気に入りなんだって。いつも笑顔で、誰とでもすぐに仲良くなれるさわちゃんに「人の気持ちの分かる優しい人になってね」とお母さん。

井口 柚菜ちゃん（新屋）

平成19年2月10日生

父・亮介さん　母・恭子さん

『ボタンの服もへっちゃら』

手先が器用で、ボタンの服も自分で着替えができるようになったゆなちゃん。今は大好きなふりかけご飯を、おはしで食べる練習中なんだよ。お気に入りのピンクの三輪車で走り回る元気なゆなちゃんに「明るく元気で人に優しくできる人になってね」とお母さん。

HIMAWARI お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

▲出場者募集

【4月のお誕生日コーナー】

▶応募期間＝3月1日から3日まで　▶対象＝4月生まれで３歳未満の児
▶応募方法＝秘書広報課へ電話で☎(32)8357
※2月生まれの応募は、13人でした（抽選により掲載決定）

みよしの文芸

Miyoshi no Bungei

俳句

旗日てふ言葉懐かし初国旗　足立　梅光
屠蘇の膳眩しき孫となり酌める　太田芙美子
逃げ隠れ出来ぬ寒さや寒に入る　山田　年子
しまい湯も初湯なりけり溢れさせ　須志原文子

短歌

禁煙から解き放たれて吹かしゆく農道の男性に冬の陽やさし　近藤　和子
息かけて拭きたる鏡　写りいる顔がわたしに微笑みかける　酒井　坂栄
腐葉土の中にスイトピーの種をまき心の華の春を待つなり　佐藤　てる子

狂俳

迎春
今朝の膳端正に座す　原田　里秋
焦ったい
何時まで私待たせるの　加藤　満弥
意気投合
肩組んで居酒屋巡る　久野　夢楽

市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。 http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/

さぁ、いらっしゃい、いらっしゃい

お買いものごっこ（天王保育園）

買い物の擬似体験を通して社会の勉強をしてもらおうと1月22日、お買い物ごっこが天王保育園で行われました。父母の会の主催で行われたこの行事。最初に、年長園児22人がお客さん役になって、牛乳パックを再利用して作られたおもちゃなどが並ぶ特設の店内に入店。手作りのお金でお買い物を体験しました。その後、お店屋さん役に交代して法被（はっぴ）にはちまき姿で接客。「いらっしゃい、いらっしゃい」と威勢のよい掛け声でお客さん役の未就園児、年小、年中園児96人に声を掛けたり、買った本を一人で読むことができない未就園児に読み聞かせをしたりしました。園児たちは、買ったばかりの商品をお互いに見せ合ったりするなど、思い思いにお買い物ごっこを楽しみました。

参加した男の子の園児の一人は「気に入ったおもちゃが買えたよ。お買い物は楽しい」と目を輝かせていました。

将来について考えるきっかけに

南中学校職場体験

市内4つの中学校の2年生が、さまざまな職場で仕事を体験する職場体験学習。1月18日から22日まで南中学校の生徒100人が43カ所の職場で体験学習を行いました。みどり保育園では5人の生徒が保育の仕事を体験。初めは緊張気味だった生徒たちも、園児たちの元気さにつられ、自然に笑顔で園児たちと接していました。また中央図書館で体験学習をした生徒たちは、職員からパソコンの操作方法を教えてもらうと、早速本を返却するお客さんや貸出しのお客さんの受付業務に挑戦。初めて経験する図書館業務の大変さを実感している様子でした。それぞれの職場で懸命に仕事をこなしたこの5日間。この体験を通して、自分の将来について考えるよいきっかけになったのではないのでしょうか。

無限の才能を伸ばすためには

横峯吉文（よこみねよしふみ）講演会

子育てをする保護者に参考にしてもらおうと1月16日、「ヨコミネ式」子育て論で全国的に話題となっている横峯吉文（よこみねよしふみ）さんによる講演会がサンアートで行われました。みよし市女性団体連絡協議会の主催で行われたこの講演会。横峯さんが経営する保育園では5歳児で漢字の読み書きができるようになるなど、そのユニークかつ画期的な子育て論でマスコミなどで話題になっていることもあって、会場にはおよそ800人の親子連れや教育関係者が詰め掛けました。現場での経験に裏打ちされた子育て論を、飾らない口調で話す横峯さん。その話に参加者はメモを取るなど熱心に聞き入っていました。参加した女性の一人は「実際の現場での体験を下に話されているので、うなずける点も多くとても参考になりました」と講演の感想を話していました。

大切な文化財を火災から守る

みよし消防署文化財消防訓練

文化財消防訓練が1月18日、明知町地内の八柱社の境内で行われました。この訓練は1月26日の「文化財防火デー」の日にちなんで、みよし消防署が毎年実施しているもの。乾燥した日が続き火災の発生が懸念される中、貴重な文化財を火災から守ろうと、消火訓練や人命検索訓練などが行われました。訓練の様子を見守った氏子会長である明知上行政区長の岡本則之さんは「阪神淡路大震災から15年が経ちましたが、この地域では東海地震や東南海地震の発生が懸念されます。万一の場合、被害を最小限に食い止めるため、わたしたち区民も協力を惜しまないつもりです」と話し、防火防災について気持ちを引き締めていました。

家庭で行うエコな取り組み

ボカシ肥料作り教室

尾三クリーンシティークラブの主催により1月21日、ボカシ肥料作り教室が尾三衛生組合エコサイクルプラザで行われました。ボカシは、もみ殻、米ぬか、糖蜜を混ぜたものに乳酸菌などの微生物から土壌改良用に開発されたEM菌を加え、発酵乾燥させたもので、生ゴミを短期間で有機肥料に変える働きがあります。今回の教室には、みよし市、日進市、東郷町から27人が参加。武豊町でボカシの無料配布をするボランティア活動をしている竹内善司さんを講師に迎え、楽しみながら肥料作りに挑戦しました。参加した男性の一人は「家庭菜園で野菜を作っていますが、この肥料を使って育てた野菜を収穫するのが今から楽しみです」と感想を話しました。

大学生による楽しい人形劇

お楽しみ会（すみれ保育園）

すみれ保育園で1月18日、父母の会主催でお楽しみ会の「人形劇」が行われました。人形劇の公演を行ったのは、市内や近隣の市町で保育園や小学校、子ども会などを中心に活動している愛知教育大学の学生人形劇サークル「じゃんけんぽん」。この日はオリジナルの作品である「おいしいリンゴ」と「ぬすんだのはだれだ？」の2本を上演しました。71人の園児たちは初めて聞くお話の面白さや、手作りのかわいらしい人形に興味津々。歓声を上げながら、「じゃんけんぽん」の人形劇に夢中になっていました。男の子の園児の一人は「すごく面白かったので、また観たいです」と笑顔で話していました。

悲惨な事故に遭わない遭わせない

シルバー交通安全教室

愛知県では交通事故による死者数が、年々減少しているものの、5年連続で全国ワーストワンの状況となっています。交通事故の死亡者数のおよそ5割を占める高齢者の交通事故をなくそうと、シルバー交通安全教室が1月27日、中部トラック総合研修センターで行われました。初めに豊田警察署交通課長の土屋人士（つちやひとし）さんが「薄暗い時間帯は外出を控えてください」と交通事故に遭わないためのポイントを解説。続いて愛知県警察本部の交通安全教育チーム「あゆみ」のメンバーが、人が目の前の危険を避けるためにとる行動「認知・判断・操作」を指を使った簡単なゲームで説明。また、自動車の運転適性を知ることができる検査も実施され、参加した市内老人クラブの会員74人は楽しみながらも交通安全の重要性についてあらためて認識していました。